

「小櫃地区20歳のつどい」開催

— 成人としての決意を胸に20歳の新たな門出 —

20歳という節目の年を迎えた26人が出席し、大人として新たな一步を踏み出しました。多くの地域の方から激励を受けた20歳の皆さんが今後さまざまな分野で活躍されることを期待しています。



第227号

編集・発行
〒292-0451 ☎35-2488
君津市末吉128
小櫃公民館

小櫃の人口

男 2,296人
女 2,294人
計 4,590人
世帯数 2,027世帯
(令和5年2月末現在)

【引続き20歳を対象に】

民法改正により令和4年4月1日から成人年齢が18歳に引き下げられました。君津市では昨年までの「成人を祝う集い」を今年から「20歳のつどい」と改めました。今までと同様に、20歳を迎えた皆さんが小櫃公民館に集まり、地元の仲間たちや恩師と久しぶりの再会を喜びあいました。

【20歳の抱負】

昨年の成人を祝う集いで行われた、一人ひとりが成人としての抱負を語る時間は今年も設けられました。今年は一歩ずつ前に出て、会場のステージに設置したスクリーンに一人ひとりの思い出の写真を映しながらの発表です。夢に向かって努力している姿を伝え、式典の中で抱負を語ることで大人としての決意を新たにしました。

今回は抱負と併せて自分たちが生まれ育った小櫃の地域への感謝を語る人が多くいました。20歳の皆さんが地元への強い思いを持っていることを知り、うれしさと頼もしさを感じました。

【ボランティアのご協力】

小櫃公民館の利用サークル「野の花を生きる会」の皆さんの手による生け花が20歳の皆さんの門出を祝福してくれました。色鮮やかに美しく生けられた迎え花の前でたくさん記念写真が撮られました。鮮やかな晴れ着を身に着けた若者たちの姿とあいまって会場が華やかな雰囲気となりました。

会場の写真撮影や着付直しは地域のボランティアの人にご協力いただきました。今年も地域の方々のご支援を受けての開催となりました。



【実行委員長あいさつ】



実行委員長 市原 健登

本日は、私達のために、このような盛大な式を開いていただき、誠にありがとうございます。また、ご来賓の皆様、先生方をはじめたくさんの方々にご臨席いただき、お祝いや激励の言葉などをお聞きいただき、心より御礼申し上げます。

私たちは実行委員として、今日まで準備を進めてまいりました。今日はこの20年間を振り返り、心に残るような20歳のつどいを催すことができ、とても嬉しく思います。

また、会場の迎え花や写真撮影、着付け直しなど地域の方にもご協力いただきました。これからはたくさんの方から教わったことを生かし、地域や社会の支えになれるよう、私達一同、努めてまいります。本日はどうもありがとうございます。

【実行委員会の結成】

20歳の皆さんの有志で結成した実行委員会の活躍により手作りで温かい20歳のつどいとなりました。9月から打ち合わせを行い、つどい当日に向けて準備を進めてきました。



写真右から
実行委員長 市原 健登
実行委員 田邊 祐
豊島 隼人
小倉 颯真
増田 悠矢
吉田 裕哉

小櫃まるごと博物館

モニターが新しくなりました。2月3日、構想運営員の水田安政さん(末吉)より映像用のモニターを提供いただきました。

これまで、「長谷川ホタル谷フェスタ」「小櫃の四季」「白山神社の神楽」「船塚山のサクラ」「白山神社古墳」「戸崎古墳群」「小櫃の歴史」と映像を増やしていきながら、公民館ロビーで常時上映しているところです。

特に、白山神社の神楽や船塚山のサクラは、令和元年度の房総半島台風や新型コロナウイルスの影響を受けており、動画の作成に当たっては地域の方に映像や写真を提供していただきながら「ありし日」を思い出していただけの内容を作成することができました。

白山神社の神楽の映像はYouTubeの一般公開はしていませんが、白山神社境内の看板に貼付したQRコードを読み取っていただくと視聴できるようにしています。コロナ禍の制限が徐々に緩和し日常を取り戻しつつある中、地域での各行事が再開や復活をしていく動きがありましたらぜひ公民館までご一報いただけますようお願いいたします。

小櫃の地域文化や史跡、自然環境など地域の財産を映像に収録し発信させていただく中で、地域の再発見の機会となるよう来年度も引き続き活動を続けてまいります。これまで以上に見やすくなった小櫃の様々な映像を大画面でご覧ください。



令和5(2023)年 としおとこ としおんな 年男・年女インタビュー



卯年の皆さんに今年の抱負を語っていただきました。
今年十二支の4番目、うさぎの年です。
うさぎのように飛躍し、向上するすばらしい1年になりますように。



喜多見眞由美さん
60歳 (俵田)

月日の経つのは早いものといいますが、あっという間に今年で5回目の年女を迎えました。幸いにも市内で四十数年の長きにわたり仕事をさせて頂いていることは大変光栄に思います。
これからは皆様への感謝の気持ち忘れず、健康に気を配り、楽しめる趣味・資格の取得にチャレンジしていこうと思います。



佐久間大輔さん
36歳 (戸崎一)

私は小櫃、久留里地区で自動車販売しております。昨年はお店が新築移転し、沢山のお客様にご来店頂きました。今後は津市街地にも負けないうように、地域の活性化を目指して仕事に取り組んでいきたいと思っております。
今年趣味のドライブやアウトレット巡りなども少しずつ再開しながら、仕事と共に両立し、有意義な1年にしていきたいと思っております。



山田美織さん
12歳 (青柳)

私は4月から6年生になります。勉強や運動はもちろんのこと、最高学年としての自覚を持ち、みんなを引っ張っていきけるようになりたいです。私は習い事で新体操をやっています。これからも練習をがんばり大会で良い成果を出し、まわりの人達に感謝の気持ちを伝えたいです。6年生で初めてのこともあるけどみんなと協力していきたいです。



塩谷保幸さん
72歳 (賀恵洲)

あつという間に6度目の年男を迎えました。長年農協に席を置き、今は土地改良、地域の農業振興にかかわらせていただいております。
人生の大半を農業と向き合ってきましたが、昨今の気候変動、ウクライナ戦争等を目の当たりにすると、食料、農業の大切さをしみじみと感じます。健康で毎日を迎えられるよう新鮮な野菜を食べ、一日一日を大切に笑顔で過ごしたいと思っております。



小平哲弘さん
48歳 (末吉)

いつの間にか4度目の年男になった事を驚いています。昨今はコロナの影響が大きく自宅で過ごすインドアな生活が続く、今までしてこなかった読書をする機会も増え、とても勉強になりました。
今後はコロナと共存していく生活が必要となりますが、仕事や趣味にも全力で楽しんでいきたいと思っております。



栗原昂太郎さん
24歳 (青柳)

この春私は、子どもの頃の夢だった警察官への第一歩を踏み出します。
小学一年生から始めた剣道を通じて、たくさんの方々との交流を深めてまいりました。いつもあたたかく、時には厳しく支えて下さった小櫃の皆さんに感謝しております。今度私が恩返しをする番です。立派な警察官になって戻ります。



鈴木良治さん
84歳 (賀恵洲)

学校を卒業して45年、会社勤めの傍ら農業や趣味の海釣りを楽しんできました。年を取って病院通いも多くなりましたが、頑張って運転免許証をもう一回更新したいと思っております。
昭和、平成、令和まだまだ年には負けられません。気持ちを若くもち、無理のない範囲で海釣りほか、できることをしたいと思っております。

小櫃の動き

ブラジル
訪日使節団
小櫃へ
1/10(火)11(水)

ブラジルの松柏・大志万学院の生徒30名と引率者3名が小櫃を訪れ、上総・小櫃地区の小中学生達と3年半ぶりに交流し、楽しい時間を過ごしました。
11日に小櫃公民館を訪問し一行をロビーのメッセージボードで歓迎しました。ボードにはブラジルからもメッセージを寄せてもらいました。

社会教育推進大会で表彰

水田安政さん(末吉)

1月29日(日)に富津公民館で開催された第57回君津地方社会教育推進大会で小櫃・上総地区公民館運営審議会委員の水田安政さん(写真前列右から2人目)が表彰されました。

君津市長賞受賞

小櫃小の児童と小櫃剣友会所属の高校生が2月24日(金)に市長賞を受賞しました。

◆青少年読書感想文千葉県コンクール 小学校低学年の部 教育長賞受賞



仲野希音さん
(小櫃小2年)

◆千葉県スポーツ少年団剣道交流大会 高校生男子個人優勝・女子個人優勝



左:佐藤愛さん(紅陵高校2年)
右:木村鋼志朗さん(翔凜高校3年)

飯縄神社春祈禱

(末吉地区) 1/15(日)

いづなさまと呼ばれ親しまれている飯縄神社で行われた新春の祈事は厳かな雰囲気の中で進み、新年の平安を祈願しました。

新サークル誕生 小櫃カラオケ楽友会

令和5年、小櫃公民館に新しいサークルができました。発起人は小澤美次郎、月崎和雄、田丸三郎の3人です。小櫃地域の活性化に寄与することを目的としてカラオケサークルを立ち上げました。皆様との親睦と地域の交流を図るために何かないか、楽しいことがいかなど話を進めていき、小櫃カラオケ楽友会という名称が決まりました。

皆様方に会員募集をしましたところ、70人以上と大勢の方がご加入してくださいました。年数回の歌の集いとして皆様方の協力を持ちまして進めていきますのでよろしくお願いたします。
第1回小櫃カラオケ楽友会、歌の集いは2月4日(土)でし

小櫃公民館 1/26(木) 利用者連絡協議会 移動研修

会員27名が移動研修で木更津市金田地域交流センター(きさてらす)と市原歴史博物館(I Museum Center)を訪ねました。

きさてらすは、行政センターゾーンと地域交流センターゾーンからなり、定員250人収容の多目的ホールのほか、会議室・研修室等があります。地域の文化活動や地域振興の拠点として、積極的に事業が展開されており、産業・商業施設と連携し、運営していることに関心をもちました。小櫃公民館の施設再整備に向けて学ぶところが多く、熱心に質問する姿がみられました。

市原歴史博物館は、昨年オープンした施設に「いちばらの至宝」が集結し、とても有意義な研修となりました。

た。初めての行事でしたが大勢の方の参加とご協力をいただき、大いに盛り上がり楽しくできました。ありがとうございます。次回は6月10日(土)に予定していますので、皆様方の協力、応援をよろしくお願いたします。
【楽友会代表 小澤美次郎】



2月4日(土)発表会 左から田丸さん、月崎さん、小澤さん

編集後記

「20歳のつどい」にカメラマンのボランティアとして出席しました。凛とした表情で自己紹介や今までの感謝、これからの抱負を述べたり、久しぶりに会う友人たちと笑顔で話したりする20歳の皆さんの姿が印象的でした。レンズ越しの若者たちの姿を観て、私事ですが、遠い昔を思い出しながらシャッターを押し出ていきました。20歳を迎えた皆様は希望に向かって飛躍することを願っています。
コロナ禍、またロシアのウクライナ侵攻で生活は厳しくなっていますが、コロナ感染対策が緩和方向で、日常生活がもとに戻りつつあります。田植えが終わったらカメラをぶら下げて秘境の温泉を訪ね、リフレッシュしたいですね! (M.H)